

第3回「海洋生物と気候変動：考えるべき倫理」



日時：令和8年6月7日（日）13:00~16:00
方法：オンラインのみ

主催・共催・後援

主催：基礎生物学委員会・統合生物学委員会
合同海洋生物学分科会

共催：地球惑星科学委員会、食料科学委員会
水産学分科会、自然史・古生物分科会

後援：生物科学学会連合、日本地球惑星科学
連合、環境省、文科省

趣旨

「考えるべき倫理」については、気候変動の影響を受けた海洋生物保護における人為的介入に対する倫理的な課題を議論します。遺伝的操作や移動分散、ブルーカーボンに関連した深海投棄などの技術的解決策がもたらす長期的な影響とリスクに焦点を当て、特に、技術的手法が必要とされる緊急事態とそのリスクのバランスをどう取るかを探ります。

次第

13:00-13:10 開会挨拶・開催趣旨説明（10分）

日本学術会議連携会員・海洋生物学分科会委員長（原田 尚美）

13:10-14:40 基調講演（90分）

福永 真弓（東京大学）「見知らぬ海と生きる：創造的介入の時代の倫理」

長谷川 健司（東京外国語大学）「気候変動下のサンゴ礁保全における人為的介入の思想系譜と現在——Assisted Evolutionの言説をめぐって」

藤井 麻衣（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）「海洋CDRとしてのブルーカーボン大規模養殖・深海貯留の可能性と課題：法政策の視点から（仮）」

14:40-14:50 休憩（10分）

14:50-16:00 パネルディスカッション（70分）

テーマ：「人為的介入と倫理」パネリスト：基調講演者＋モデレータ（安田仁奈）

16:00 閉会挨拶 日本学術会議副会長（日比谷 潤子）

参加申し込み方法：以下のフォームから登録をお願いします

<https://forms.gle/jwAAB5zhhF33Qsd87>

問い合わせ先： 原田 尚美 naomi.harada@aori.u-tokyo.ac.jp
安田 仁奈 27Yasuda@ecc.u-tokyo.ac.jp